



酒田地区私立幼稚園・

認定こども園連合会

教育・保育研究会が行われました。

R7、10月NO.2 認定こども園若草幼稚園・若草ベビールーム

こんにちは。認定こども園若草幼稚園・若草ベビールームです。秋晴れの心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしですか。園庭では、秋ならではの木の実がたくさん落ち遊びに取り入れたり、赤とんぼを追いかける元気な子ども達の姿が見られています。

さて、先日10月8日（水）に、酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会の研究会が本園を会場に行われ、酒田地区のこども園の先生達が来園し保育を参観していただいた後、全体会では本園の研究発表、担当学年ごとの分科会、文教大学短期大学部教授の奥山優佳先生からのご助言をいただきました。

本園の研究テーマ「主体性を育む環境とは～園庭の見直しを通して遊びの深まりを考える～」掲げ、2年継続で研究してきました。入園前の皆さんにもたびたびお話をさせていただくのですが、本園の魅力といえば「自然あふれる起伏に富んだ園庭」です。職員にも本園の魅力は？と聞くとみんな口をそろえて「やっぱり園庭でしょう！」と話します。そんな中で、「私たち職員が園庭の良さをわかってるの？」「自然を保育に生かしてる？」「恵まれた環境と思って安心していない？」「園庭で環境と関わる子ども達の姿がしっかり見れてる？」そんな疑問から始まった研究でした。

2年継続で勉強の機会をいただき、先生達で園庭の環境について「もっとこうしたい！」「こんなものがあつたらいいね～」と先生達の夢や理想、「やってみたい！」を出し合い改善してきました。実際に子ども達の遊びや動きが変わり、その姿を見取りまた環境を考えていく。その繰り返しの中で子どもの姿を今まで以上によく見ようとする姿勢が先生達に出来てきたことは大きな成果だと思います。また、子どもをいろいろな方向から見ようと先生達でアイデアを出し合ったり、保育者としての援助の幅が広がるようどんな保育者の関わりや環境の構成が必要かなど保育者間で話し合ったりし、先生達が子どものことを中心に研修を重ねてこれたと感じています。課題もたくさん見えてきました。「子どもを見取る視点をもっと広げたい」「遊びが広がるような環境構成や材料・素材は？」「毎日の保育の組み立てはどうか」「主体的な子どもを育むための保育って？」研究はまだまだ続きます。

新たな課題もたくさん見えてきた研修となりました。正解や終わりは無くずっと考え続けていくのが「保育」の醍醐味であり面白さでもあると思います。一緒に研修を重ねてきた職員の顔を見ると、子ども達と同じ！個性豊かで、豪華なラインナップ！？先生達の持ち味を生かしつつ、「チーム若草」アイデアを出し合うことで、より保育の幅が広がっていくはず(^^)これからも研修を重ねていきたいと益々やる気の先生達です。

11月22日（土） **なかよしさぎの秋まつり** 10:00～11:30

未就園児とその保護者対象の園開放日です。親子で遊びにいらしてくださいね。

（持ち物）

内履き 水分補給用の飲み物 着替えなど各自必要なもの

*事前申し込みが必要です。

お申し込みは（22-2132）か、HPよりお申し込み下さい。

申込は
こちらから

